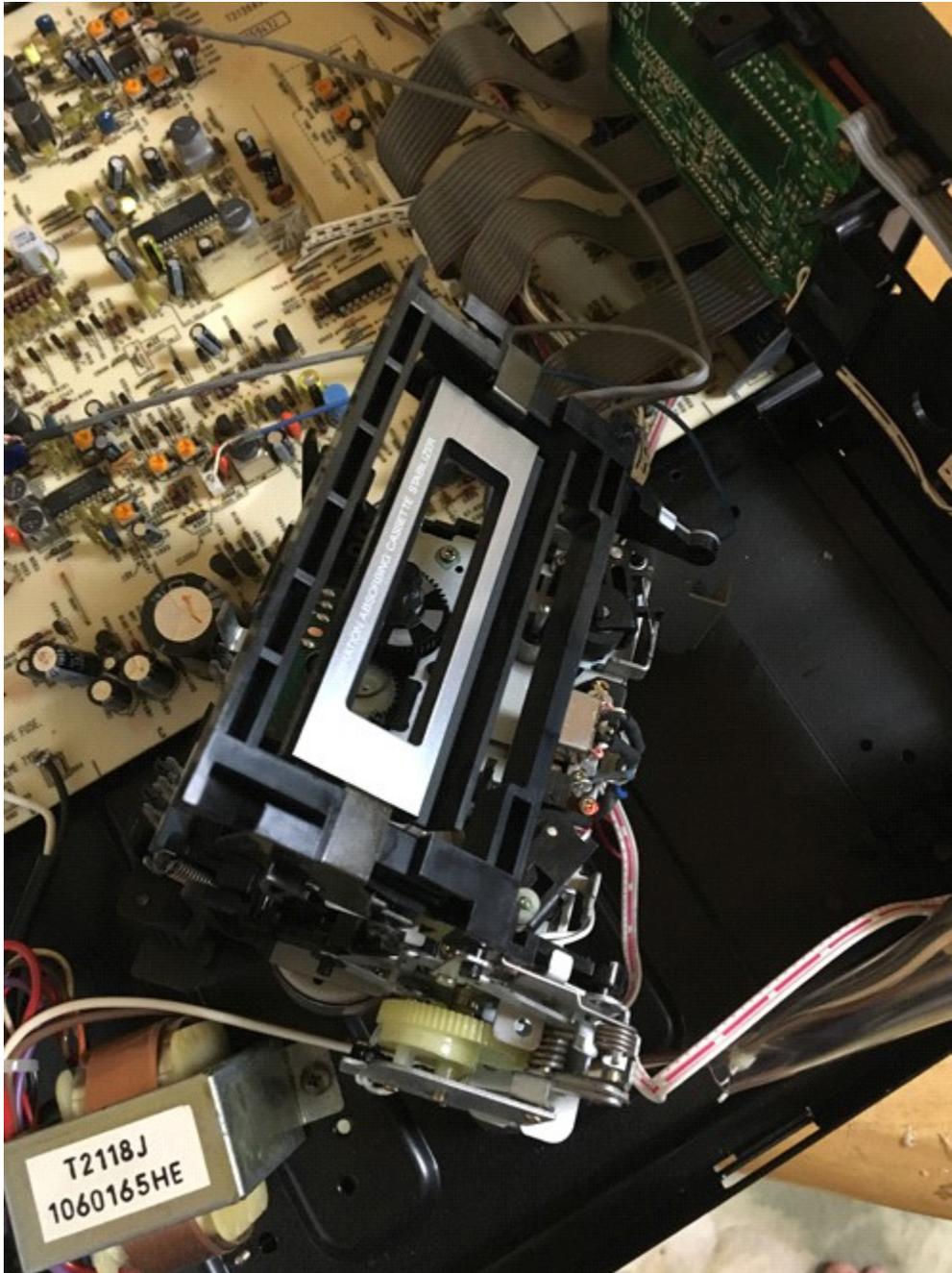


AKAI GX-6300EV

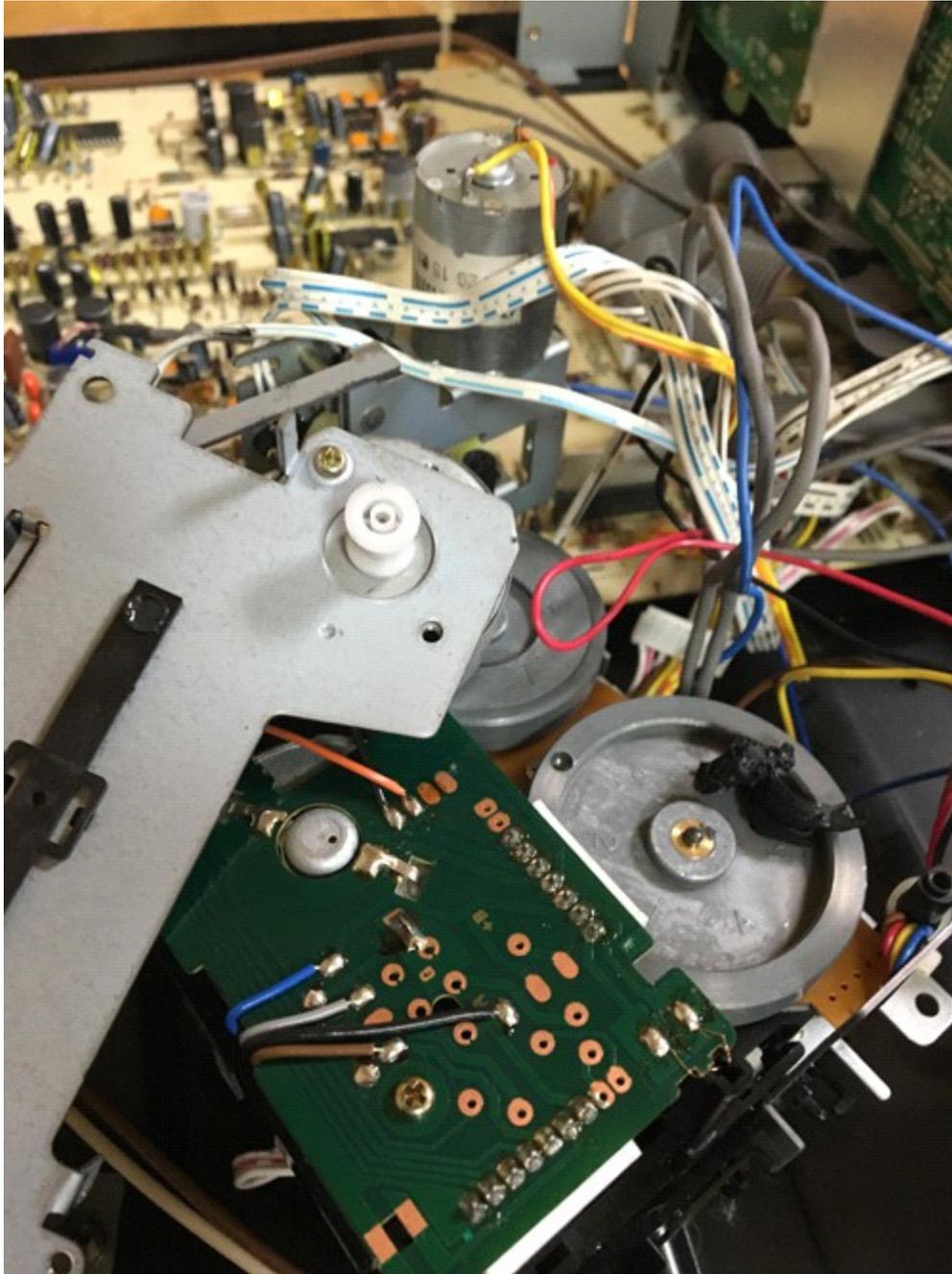
故障内容 再生出来ない

修理内容 メカブロックのオーバーホール

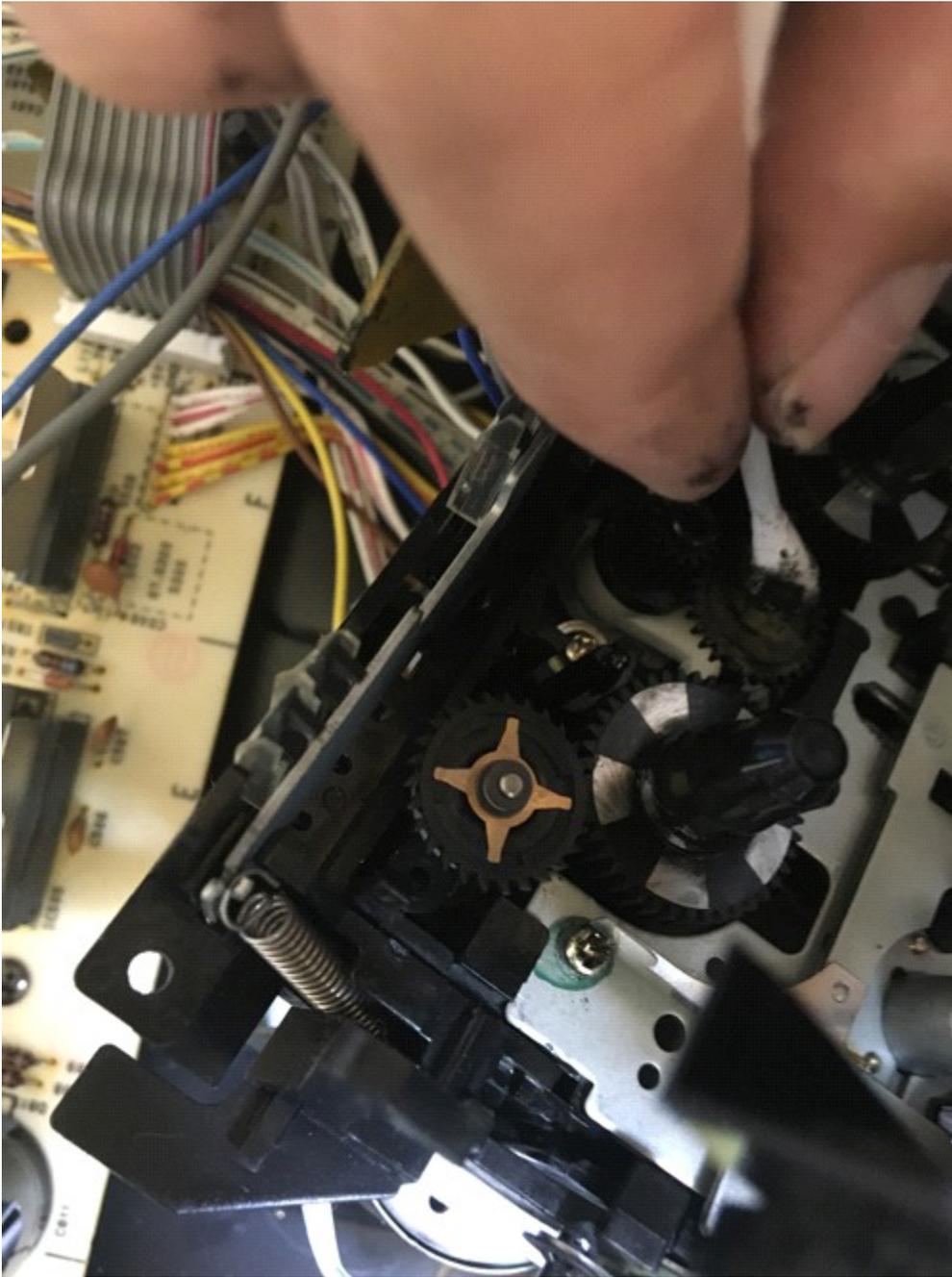
本体からメカブロックの分離、この機種は非常に難作業



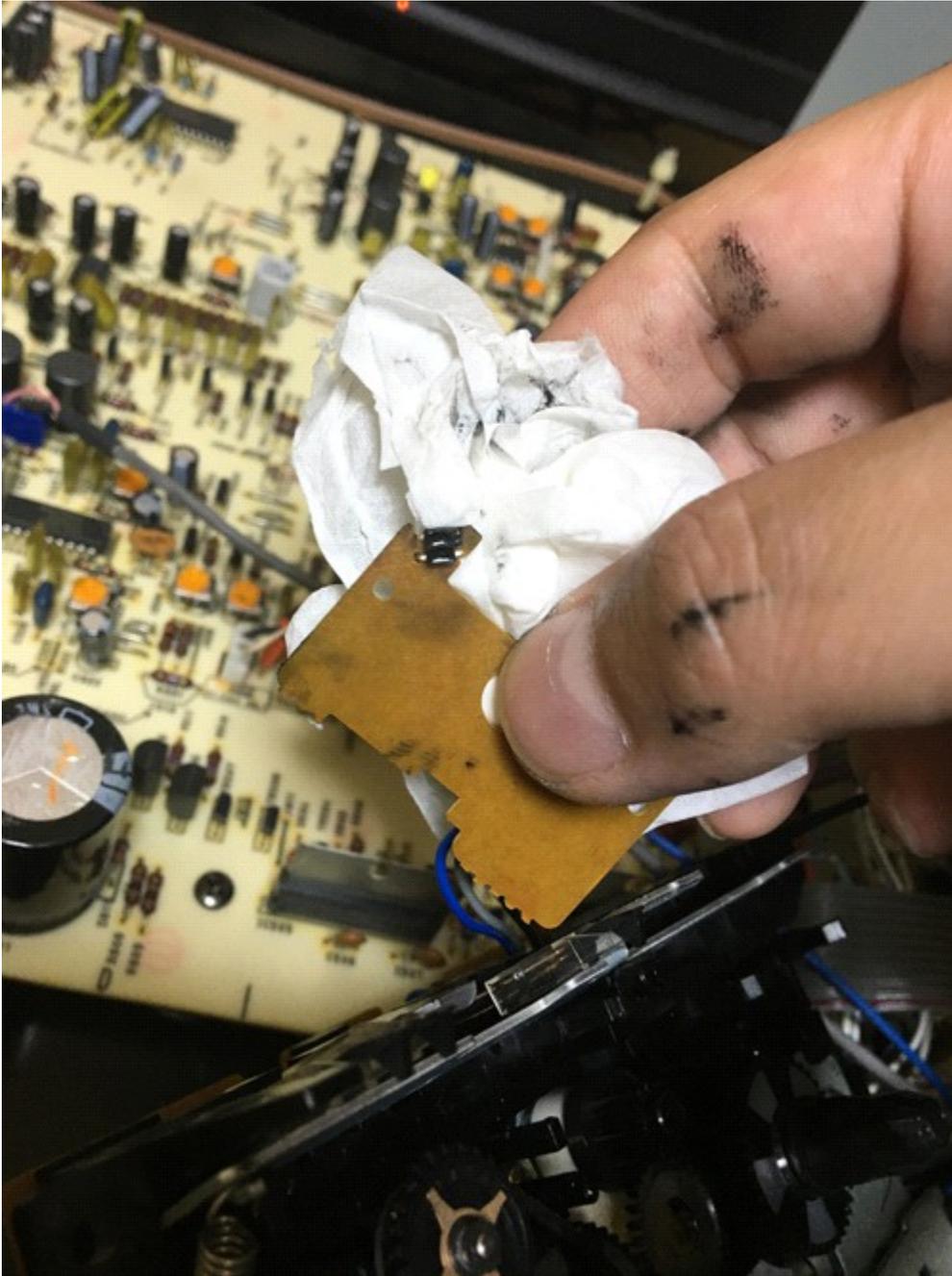
フライホイールの分解（外すのも難作業） 駆動ゴムはタール状になってしまい使用不能



バックテンション用のゴムも溶けてしまい、カウンター検出部が汚れてしまっているの  
ので清掃作業



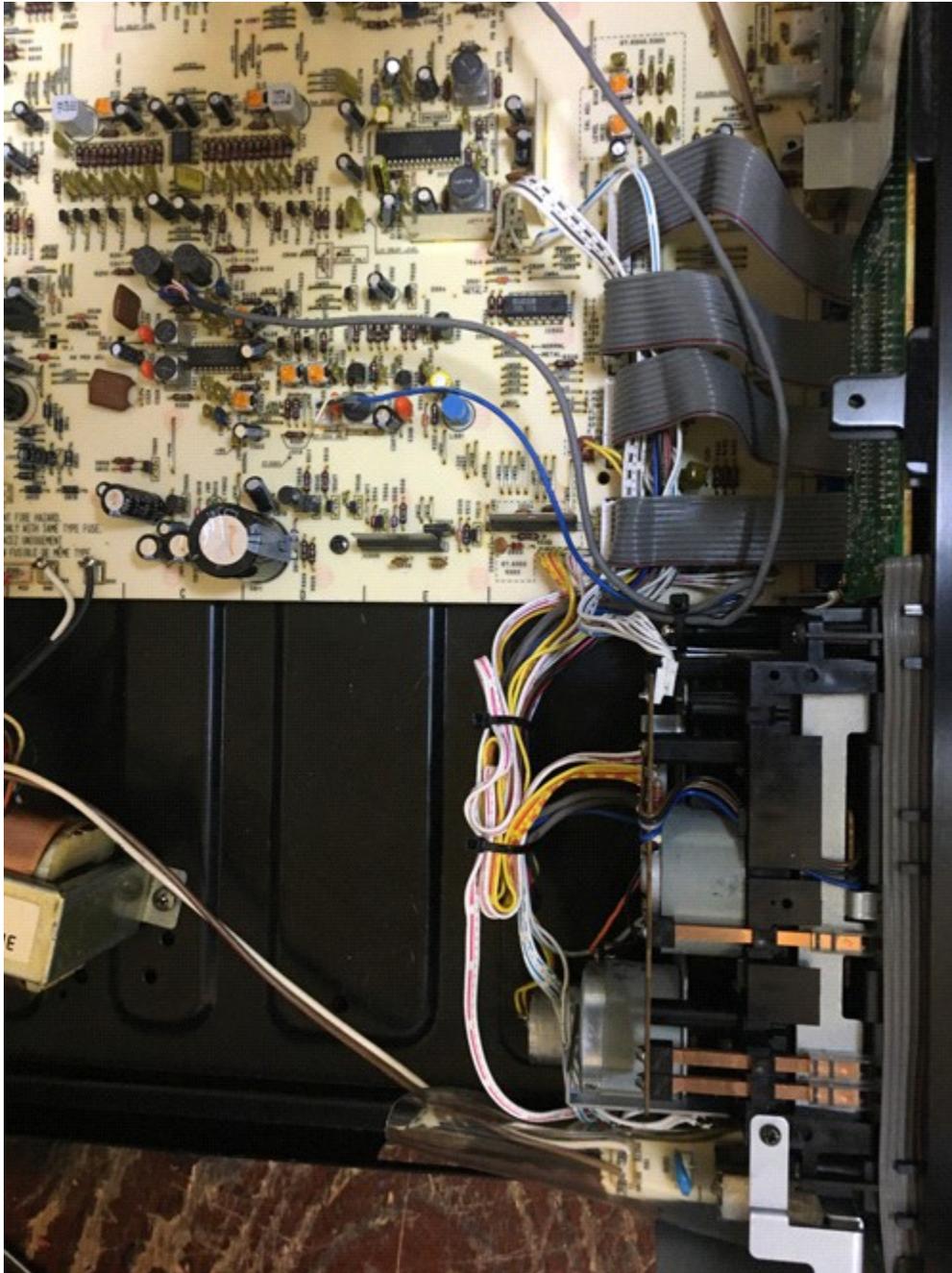
カウンター部分のセンサーユニットにも汚れが付着しているので清掃



フライホイールゴム交換、バックテンション用のゴム交換をして元の位置に。

フライホイールのゴムの装着はゴムを押さえながら非常に難作業。

配線を固定してメカブロックの組立終了



簡易メカ動作確認、再生も問題ありません、カウンターの表示もOKです。



録音確認（キャリブレーション動作確認中。ダイソーの会議録音用テープなので質が悪くLEVELがいっぱいですが故障ではありません！）



録音確認中（ソースを録音しながら実際にモニター切替でテープに録れている音を確認出来るのは3HEADデッキならでは）



弊社では個人様・業者様を含め年間数百件の修理等を行っております。  
オーディオの修理等をご希望の方はお問い合わせください。

<http://www.kaitori.audio/repair>